

# Weekly Bulletin 2020-2021



RI会長  
ホルガー・クナーク



ロータリーは  
機会の扉を開く

静岡東ロータリークラブ

会長/相原雄治 幹事/長島秀親

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
相原雄治

第2947回例会 令和2年7月30日

《司会》長島 秀親 君

《合唱》手に手つないで/静岡東ロータリー

《ソングリーダー》大脇 順実 君

《ゲスト》株式会社トムス

デザイン部長兼マーケティングチームマネージャー  
中川豊章様

《ビジター》なし

《会長挨拶要旨》相原雄治会長

本日のゲストは、トムス コミュニケーションデザイン部長兼マーケティングチームマネージャー中川豊章(効珠)さまで、プログラムリーダーの榛葉会員からのご紹介です。

本日のテーマは「密密化から開疎化へ 静岡は新しい働き方を捉えて、モチベーションコントロールできる場所になれるか」ということです。



新型コロナウイルスによって働き方と移動についての捉え方が大きく変わり多くのビジネスマンが仕事はリモート、休日も自宅という今までなかった生活スタイルを強いられる結果となりました。私自身は在宅での仕事はしていませんが、会議打ち合わせではZOOMなどが

多くなりました。逆に海外の方々とのコミュニケーションが以前より効率的にできるようになりました。

本日はこれらの現状が今どのようになっているか、そして今後どのようになっていくかとても参考になるお話を聞け

うです。

中川様、よろしくお願ひいたします

《来賓卓話》

「密密化から開疎化へ 静岡は新しい働き方を捉えて、モチベーションコントロールできる場所になれるか」

株式会社トムス

コミュニケーションデザイン部長兼マーケティングチームマネージャー 中川豊章様

《卓話サマリー》

- 1.開疎化とは密を避けながら社会構築し、成長する社会
- 2.開疎化⇔都市化
- 3.密密(集まる)のメリットもあるが、デメリットもある
- 4.開疎化⇒地方移(住)
- 5.居住は地方、所属企業は首都圏、仕事のコミュニケーションはオンラインと云う生活様式に移行しても良い、または検討する層が増えつつある
- 6.開疎化の懸案事項は①移住に掛かる費用、②勤務先が容認するか、③テレワークの持続性が不透明、④医療の不安、⑤子供の教育(レベル)などである
- 7.都市⇒地方の移住者を『受ける』地方の受入体制と意識改革が必要である

《所感》

コロナ禍でオフィス不要論などが(業種によっては)議論されつつある昨今です。当社が取引している自動車メーカーも本社は東京、開発本部は愛知県、生産工場は岡山県などと分散しています。そして、商品を売る窓口は全国すべての都道府県。こうなると何も高額な賃料を払って東京のど真ん中に本社を構える必要など感じませんし、現に今もメーカーの本

社は90%以上が在宅勤務で神奈川や埼玉などの自宅で仕事を行っています。それでも当社のような販売窓口は不都合なく、コロナ禍以前と同様に仕事が出来ています。

所属企業の近郊に居を構えなくてはその仕事に就けないという業種も確かにありますが、全てにそれを求めることは将来への成長の足かせに成り得ると思いました。東京、名古屋へ新幹線で1時間圏内の静岡が開疎化による変化で人口流入などの成長路線へと変わってくれば良いと思います。

《スマイル報告》ご協力者（敬称略）

山川・加藤・長田・長谷川・川口・伊藤・栗木・佐野・林田

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全 欠席	確定 出席率
今週	47 (45)	32	13	—	—	—
前週	47 (45)	38	7	—	—	—
前々週	47 (45)	41	4	2	2	95.55%

(会報作成 宮崎貴久)